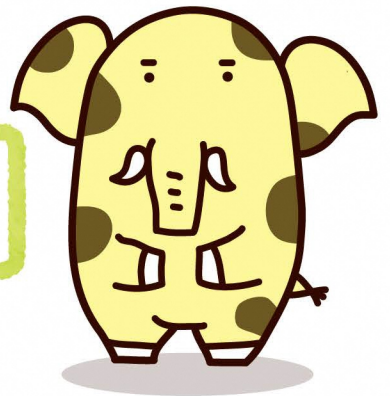


# もくじ

シティプロモーション方針	1
新座市の現状	2
市民から見た新座市	3
近接自治体及び参考自治体との比較	4
新座市の強み	5
ターゲット	6
キャッチコピー・ロゴマーク	7
選ばれるまちになるために	8
皆で進めるシティプロモーション	10

新座市イメージ  
キャラクター  
ゾウキリン



ゾウのようですが、体の模様がキリンに似た不思議な生物です。「雑木林とせせらぎのあるまち新座」の雑木林を“ゾウキリン”と読み間違えてやってきて、その居心地の良さにそのまま住みついてしまったようです。

## 新座市はココ!



## 市長挨拶

皆様、こんにちは。新座市長の並木傑マサルです。

新座市は、東京都心から25キロメートル圏内に在りながら、武蔵野の面影を感じられる雑木林などの豊かな自然が残されています。こうした自然環境を保全していくと同時に、土地区画整理事業等の都市基盤整備も積極的に推進し、人口減少、少子高齢化社会にあっても「新座市に住んでみたい、ずっと住み続けたい」と思っていただけるまちを目指して市政を推進しているところです。

新座市の魅力を最大限にいかし、あらゆる世代の皆様が“みらい”に希望の持てる「魅力ある快適みらい都市」の実現に向けて全力で取り組んでまいりますので、今後とも御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。



# シティプロモーション方針

## シティプロモーションってなあに？

新座市には、歴史的文化資産や自然、農産物や祭りなど、「新座ならではの」といえる魅力がたくさんあります。他とは異なる「地域ならではの」といえる魅力を、地域ブランドと呼びますが、当然のことながら、発信をしなければ誰にも魅力として伝わりません。また、新座市が持つ魅力をただやみくもに発信するのではなく、**誰に、どのように届けるのかを明確にし、効果的、継続的に発信していく**ことが、新座市のブランドイメージの向上や確立につながっていきます。

これが、新座市の考えるシティプロモーションです。

## シティプロモーションの目的

シティプロモーションを実行する上では、目的を明確にすることが重要です。ブランドイメージの向上や確立はあくまで手段であり、目指すものではありません。新座市の基本的な考え方でいえば、市外の方々には「**住んでみたい**」、市民の皆様には「**ずっと住み続けたい**」とさせていただくことにより、定住人口や転入数の増加を促進することがシティプロモーションの目的です。

## 方針の期間

本方針の推進期間は、平成31年度から平成33年度までの3か年とします。

## 効果検証

本方針の進捗管理、効果の検証のため、人口(30～39歳)など関連指標をモニタリングします。

## なぜ今シティプロモーションに取り組むの？

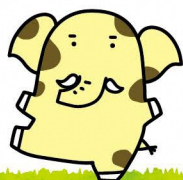
人口減少及び少子高齢化の問題は、日本全体が直面している最重要課題の一つであり、このことは、新座市においても例外ではありません。

こうした人口減少・少子高齢化社会にあっても、まちの活力の維持・向上を図るため、全国の自治体がそれぞれの特徴をいかしたシティプロモーションに取り組んでいます。都市間の競争が激化する中、新座市が選ばれるまちになるため、他市にはない新座市ならではの魅力を効果的に伝えていく必要があります。

そんな中、新座市は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会において、**射撃競技の会場市**となるとともに、**ブラジル連邦共和国のホストタウン**として登録されました。さらに、**2020年は市制施行50周年を迎える記念すべき年**であり、今がまさに、シティプロモーションを実施する絶好のタイミングです。

## 方針の位置付け

新座市のシティプロモーションは、他の計画と同じく、市の最上位計画である新座市基本構想総合振興計画に基づき進めていきます。



# 新座市の現状

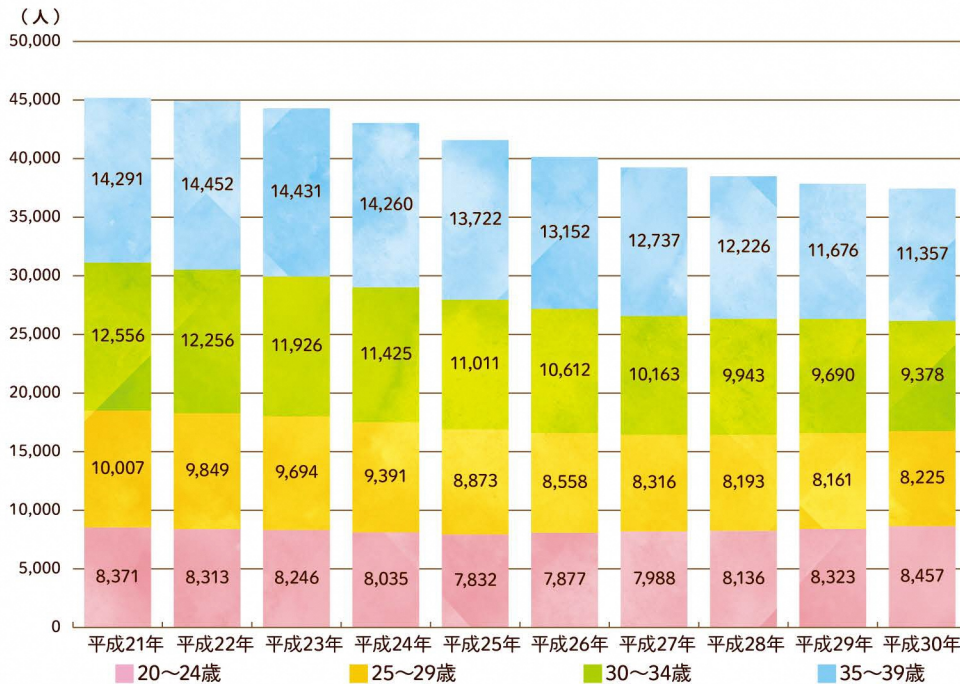
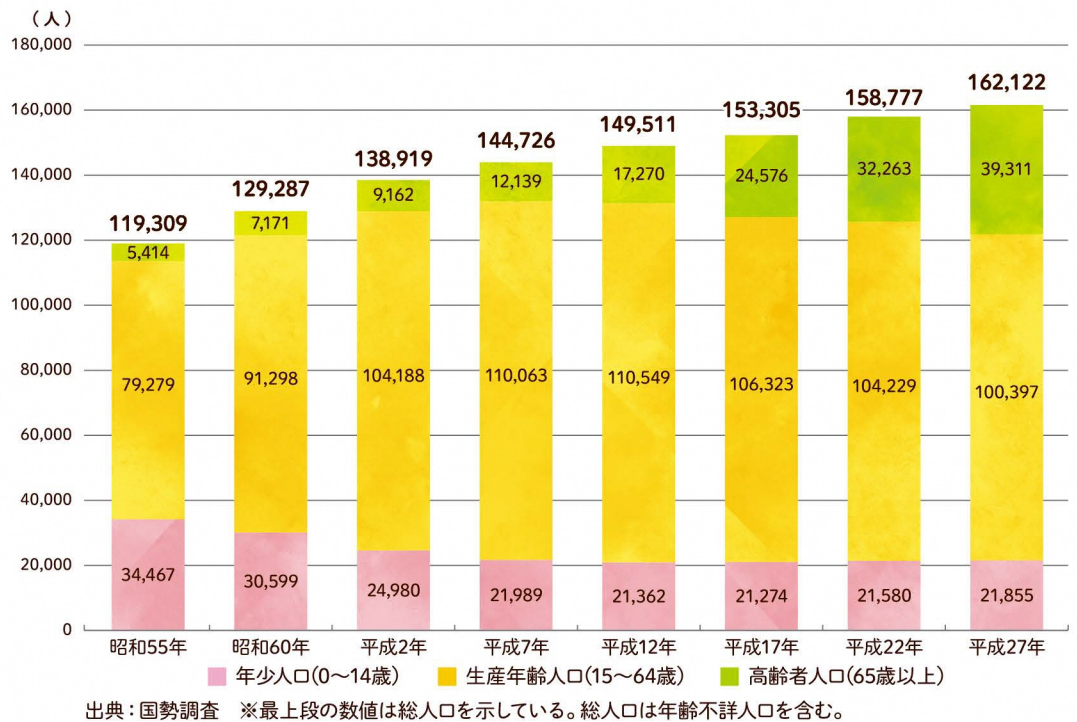


## 人口の観点から

### ① 総人口及び年齢三区分別人口の推移

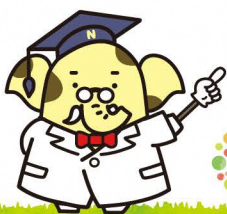
総人口は、一貫して増加傾向にあります。

年少人口(0～14歳)は、平成7年までは減少が続いてきましたが、その後は横ばいとなっています。生産年齢人口(15～64歳)は、平成12年までは増加傾向にあったものの、以降は一転して減少傾向にあります。高齢者人口(65歳以上)は、一貫して増加傾向にあります。新座市としては、**生産年齢人口及び年少人口をいかに増加させていくかが、人口構造上の大きな課題**といえます。



### ② 子育て世代人口の推移

生産年齢人口は15歳から64歳までと幅広いことから、その中でも、年少人口の増減に影響する子育て世代の人口に目を向けてみます。過去10年間では、20～24歳はほぼ横ばいであるのに対して、25～39歳は一貫して減少傾向にあり、増減比率で見ると、とりわけ30歳代の人口減少が顕著であることが分かりました。**子育て世代は、年少人口の増減だけでなく、地域の活性化にも大きな影響力を持つことから、この減少を食い止めることが非常に重要な課題**といえます。

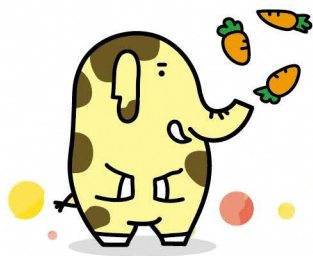
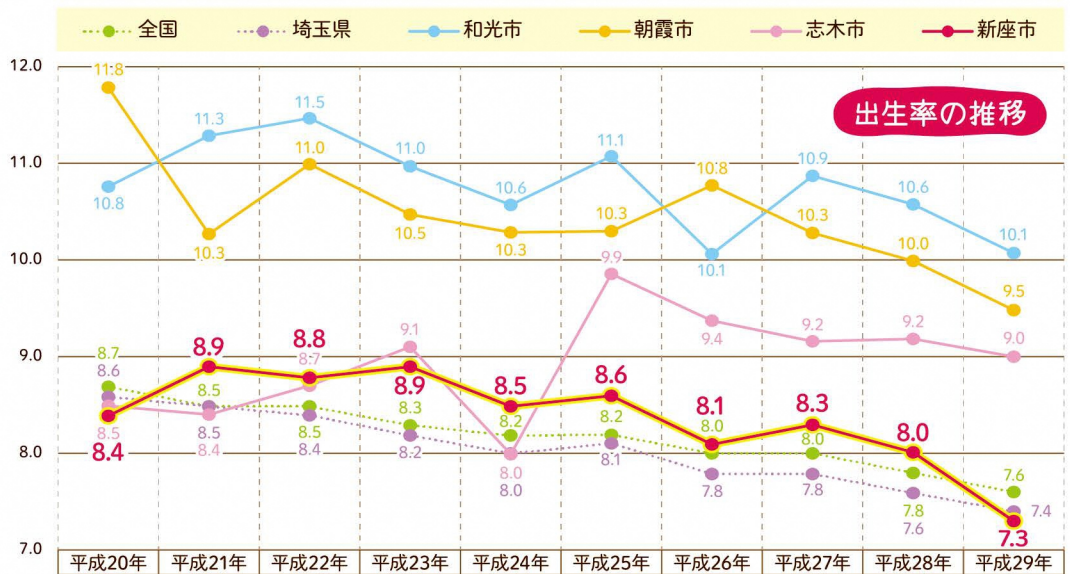
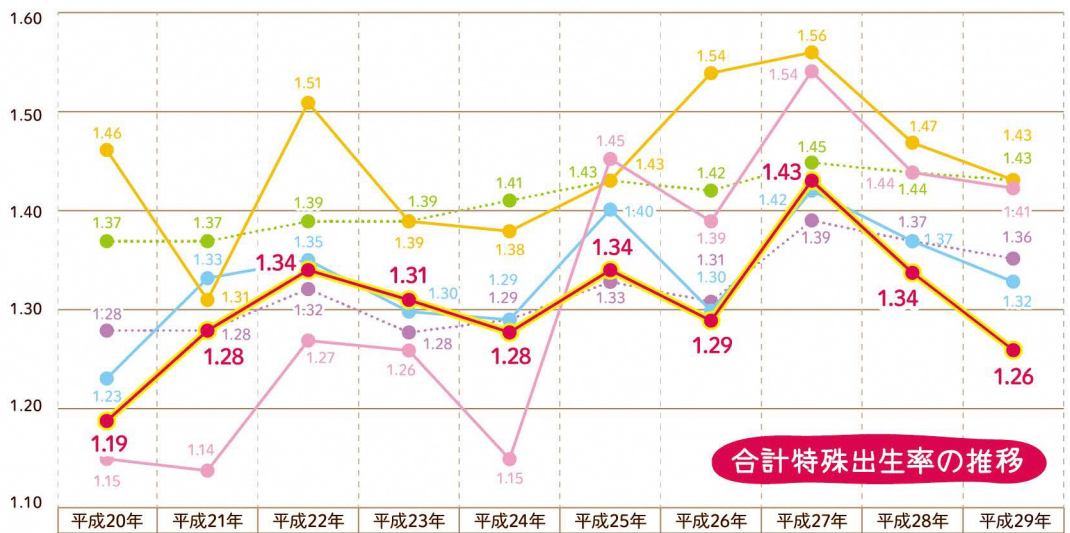


### ③合計特殊出生率、出生率の推移

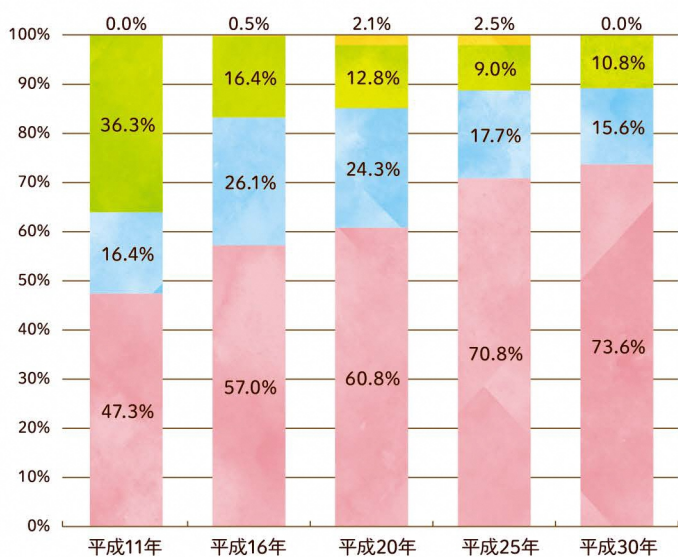
合計特殊出生率の平成20年から平成29年までの経年的な傾向を見ると、全国、埼玉県、新座市を含む朝霞地区4市ともに、ばらつきはあるものの上下を繰り返しながら、全体的に上昇傾向にありましたが、直近2年は下降傾向にあり、特に平成29年は朝霞地区4市において新座市が最も大きく減少しています。

さらに、出生率についても、朝霞地区4市において、特に低い数値となっています。このことから、新座市においては、合計特殊出生率の低下に加えて、子育て世代人口の減少自体が年少人口が増加しない大きな要因となっていると考えられます。新座市の年少人口が増加していくためには、先述のように、子育て世代人口が増えていくことが強く望まれるところです。

出典：埼玉県発行統計資料



## 市民から見た新座市



出典：第10～14回新座市民意識調査

### 新座市民にとっての住みよさ

「住みよい」が年々増加しており、平成30年には73.6%となっています。



# 近接自治体及び参考自治体との比較

新座市の特徴をより詳細に分析するため、人口及び住宅に係る統計情報について、以下の自治体との比較を行いました。

**近接自治体**

転入者が新座市以外に候補地とした自治体  
朝霞市、志木市、和光市、清瀬市、  
東久留米市、西東京市、練馬区

**参考自治体**

都心部からの通勤時間が新座市と同等の自治体  
蕨市、小金井市、市川市



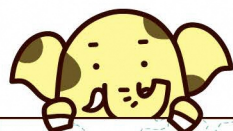
新座市は、1世帯当たり人数が2.27人、持ち家率が66.1%と、11市区の中で、**最も高い数値**となっています。

また、子育て世代(20~39歳)の人口増減比率(平成21~30年)は、新座市以外の自治体においても減少傾向にあることが分かります。新座市では17.3%の減少であり、相対的に減少率が高い数値となっています。

市区	人口	世帯数	1世帯当たり人数	20~39歳人口増減比率 (平成21~30年)	持ち家率	住宅取得価格	所要時間	乗車区間	
新座市	164,767	72,596	2.27	▲17.3%	66.1%	3,925万円	19分	志木駅-池袋駅	
近接自治体	練馬区	723,711	360,633	2.01	▲8.1%	44.7%	6,203万円	7分	練馬駅-池袋駅
	西東京市	199,790	94,692	2.11	▲13.0%	51.4%	4,979万円	15分	ひばりヶ丘駅-池袋駅
	和光市	81,368	39,632	2.05	▲12.6%	43.8%	4,119万円	13分	和光市駅-池袋駅
	朝霞市	136,910	62,671	2.18	▲11.2%	49.4%	4,078万円	15分	朝霞駅-池袋駅
	清瀬市	74,510	34,709	2.15	▲17.5%	48.8%	4,026万円	22分	清瀬駅-池袋駅
	東久留米市	116,867	53,225	2.20	▲19.1%	57.0%	3,864万円	20分	東久留米駅-池袋駅
	志木市	75,421	33,562	2.25	▲12.2%	62.2%	3,795万円	19分	志木駅-池袋駅
参考自治体	小金井市	119,359	58,829	2.03	▲3.2%	42.9%	6,284万円	21分	東小金井駅-新宿駅
	市川市	480,744	235,660	2.04	▲16.7%	51.8%	4,877万円	18分	市川駅-秋葉原駅
	蕨市	73,900	37,541	1.97	▲4.6%	49.7%	4,862万円	21分	蕨駅-田端駅

出典:土地価格相場が分かる土地代データ、住民基本台帳、国勢調査、住宅・土地統計調査  
総務省統計局刊行「統計でみる市区町村のすがた 2018」

※人口・世帯数・1世帯当たり人数については、平成29年1月1日現在  
※住宅取得価格は、敷地面積を100㎡、建物の価格を1,500万円として積算  
※所要時間は、区域内の駅から最寄りの山手線の駅までの乗車時間



## 住宅購入のしやすさ

持ち家率が高いという新座市の特徴に着目し、新座市における住宅購入のしやすさを見てみます。左の図は、新座市、近接自治体及び参考自治体の、区域内の駅から山手線最寄り駅までの所要時間を記したものです。図中の円は、新宿駅から新座市までの距離を半径として描いています。また、上記の表では、山手線最寄り駅への所要時間に加え、地価から算出した住宅取得価格を比べています。これらの比較から、新座市は、**高いアクセス利便性に恵まれた土地ながら、住宅を購入しやすい環境**にあるといえます。

# 新座市の強み

身近に触れ合える  
自然がいっぱい!



ボランティア活動が  
盛ん!

カブトムシも、ホタルも、  
ブドウ狩りも、イモ掘りも、  
タケノコ掘りも、楽しめる!

埼玉県最南端で都心に近い!  
通勤、通学も楽々!

住むところ、働くところが、  
どんどん新しく生まれている!



電車移動はもちろん、  
車でお出かけするのも便利!

公立小中学校の教室には  
エアコン100%設置!  
トイレもキレイで、快適に学べる!



ご近所さんつながり、  
困ったときは助け合える!

地盤が強固で  
地震に強いから、  
安心して住める!



ゆとりある一戸建てに住める!

市内にある3つの大学と  
地域が、一緒になってまちを  
盛り上げている!

18歳までのこどもは、  
通院も入院も無料!  
埼玉県南部では新座市だけ!

東京2020オリンピック・パラリンピック  
競技大会で、新座市では射撃競技が開催!  
ブラジル連邦共和国のホストタウンとして  
国際交流も!



市民自らイベントを開催して  
まちを盛り上げている!

大江戸線が新座市に?!  
※延伸に向けて活動中!

Wonderful



# ターゲット

## メインターゲット

### 首都近郊で戸建て住宅を取得しようとしている 30歳代の子育て世代

新座市ではこれまで、「住んでみたい ずっと住み続けたい 魅力ある快適  
みらい都市」の実現に向け、様々な施策を進めてきました。今後は、それぞれの  
施策のターゲットを明確に捉えた上で、効果的な情報発信に取り組んでいく  
必要があります。

その中でも特に、子育て世代の人口減少が深刻な課題となっていることを  
踏まえ、**メインターゲット**を左記のとおり設定します。

#### メインターゲット設定の主な理由

- 子育て世代の中でも、特に**30歳代の人口減少が著しいこと。**
- 子育て世代の社会移動は、転入・転出ともに、  
**埼玉県内及び東京都内が多いこと。**
- 持ち家率が高く、その中でも**戸建て住宅の割合が高いこと。**
- 住宅取得の平均年齢は、**30歳代後半**であること。
- 子育て世代人口の増加は、定住人口の増加だけでなく、  
**年少人口の増加や地域の活力を高めることにもつながること。**



## サブターゲット

### 市内大学に通う学生

市内大学に通う学生からは、「駅とキャンパスの往復だけで新座のことをあまり知らない」という声が聞こえてきます。

学生に新座市の魅力を伝え、関心を深めていただくことで、まちづくりへの参加や市民との交流を促し、まちの活気を創出します。また、これらの体験を学生自らが情報発信することで、若い世代に新座市のイメージが定着することが期待できます。さらには、**近い将来の子育て世代に「新座に住みたいな」と思ってもらうことで、定住の可能性を高めることにもつながります。**

市内には**3つの大学**があり、約1万人の学生が在学しています。また、各大学においては、地域との連携事業に積極的に取り組んでおり、これは、他市にはない新座市ならではの大きな魅力の一つです。

そこで、**サブターゲット**を左記のとおり設定します。



# キャッチコピー・ロゴマーク

シティプロモーションを進めるに当たり、キャッチコピー・ロゴマークを設定します。

## キャッチコピー

### くらすにいざ∞ぷらすにいざ

#### キャッチコピーに込めた思い

首都近郊に住む方が増えています。

どんなまちが選ばれるのでしょうか。

通勤や通学、日常の買い物に便利なまち。

時間のゆとりは心身のゆとりをうみ出します。

子どもたちがこもれびの中でのびのびと学び、遊べるまち。

豊かな自然は安らぎをうみ出します。

駅近の一戸建て、家庭菜園付きの一戸建て、好みの家が見つかるまち。

「くらすにいざ」

新座市には、快適な暮らしをかなえる全てがあります。

新座市は子育てがしやすいまちです。

安心して快適な学校で学ぶことができます。

放課後も地域の皆さんが子どもたちを見守っています。

駅を中心に新たなまちづくりが進み、

美しい街並みの住宅地や

活力と賑わいのある商業空間が創出されています。働く場もうまれます。

「ぷらすにいざ」

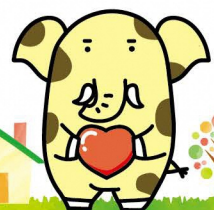
新座市には、次々と生まれるたくさんの魅力があります。

新座市はこれからも成長、発展し続けます。

新座市の可能性は無限大「∞」です。

## ロゴマーク

くらすにいざ ∞ プラスにいざ





# 選ばれるまちになるために

シティプロモーションのメインターゲットを「首都近郊で戸建て住宅を取得しようとしている30歳代の子育て世代」、サブターゲットを「市内大学に通う学生」としました。市外に住む子育て世代の方々が、新座市に戸建てを持ちたいと感じ、住み替えていただくことや、現在市内に住む子育て世代の方々が、新座市で子どもを産み育てたい、暮らし続けたいと思えるまちを目指し、重点的に取り組みます。

効果的なシティプロモーションを行うため、ターゲットを絞り、ターゲットに響く施策に重点を置きますが、ターゲット以外の世代の方が無関係となるわけではありません。

むしろ、シティプロモーションの推進に当たっては、地域全体の活性化が重要であり、これまで取り組んできた様々な施策についても、シティプロモーションの観点から更に磨きをかけ、着実に進めることが、「選ばれるまち」になることにつながります。

そこで、「選ばれるまち」を目指し、新座市のシティプロモーションを効果的に進めるための指針として、次の3つの柱を掲げます。ターゲットに向けた取組も既存の取組も、これらの指針に沿って、行政だけでなく、**市民、事業者、学校**など市全体で取り組むことが重要です。

## 2. 新座市のファン (FUN・FAN)づくり (魅力づくり)

これまで以上に地域全体の連携を意識し、様々な角度から新座市の魅力や価値を共有し合うことで、**個々では生み出せなかった魅力(FUN)の創出、個々では広く伝え切れなかった魅力(FUN)の拡散**につなげていきます。

既に新座市に関わっている人はもちろんのこと、まだ新座市に対して具体的なイメージを持っていない人たちも、地域一体となって魅力を創出する新座市に興味・関心を持ち、やがては、自らも新座市に関わりを持ちたいと考える人になる、そんな**新座市のファン(FAN)づくりを推進**します。

マルシェの  
開催

大学生との  
関わり

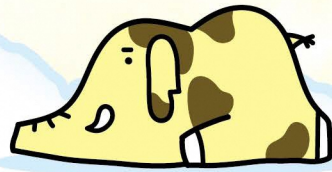
ロケーション  
サービスの  
推進

## 1. 地域が 地域が (地域全体

子育てや教育は、親や教  
りません。新座市ではこれ  
校施設の整備に重点的  
後は、更に、**地域全体**  
**り、育てていく**仕組み  
地域全体の子育て意識、  
地域も育つまちづくりを目

自然体験、  
文化体験イベント  
の実施





# 3つの柱に基づく 事業の展開

シティプロモーションを効果的に進めるための3つの柱について、それぞれが目指すことと、考えられる事業例を示します。今後は、3つの柱に基づき新たな事業を展開するとともに、これまで実施してきた既存の事業についても、新たな視点の下に実施方法等を検証していきます。

育てる、  
が育つ  
での教育)

教師だけが担うものではなく、これまで、子育て支援や学  
取り組んできましたが、今  
で子どもたちを見守  
づくりを進めていきます。  
教育意識を高めることで、  
指します。

## 3. 「響く」 メディアの選択 (魅力発信)

メディアが  
取り上げられる  
魅力づくり

情報発信すると言っても、その手法は実に様々です。

タイミングを捉え、適切なメディアを選択することで、**ターゲット層に響く情報発信**を行います。また、情報発信するだけでなく、**メディアから取り上げられるような話題づくり**を意識し、良いイメージの露出を増やします。

プログラミング  
教育の  
充実

職業体験  
イベントの  
実施

ソーシャル  
メディアの  
活用

住宅情報  
サイトの  
活用

鉄道車内広告や  
子育て情報誌の  
活用



# 皆で進めるシティプロモーション

「住んでみたい」、「ずっと住み続けたい」と思ってもらえる「**選ばれるまち**」になるためには、新座ならではの魅力を効果的に発信する必要があります。

これまで、行政が主体となって魅力の発信に取り組んできましたが、最近では、**市民、事業者・団体、学校等**による活動も盛んになってきました。しかし、それぞれの立場で個別に活動するだけでは、その効果も限定的です。

今後は、本方針を共通の指針として協働の意識を更に高め、**それぞれが強みをいかし**、弱みを補い合って互いに協力することで、活動の輪をつくります。

さらには、活動に関心を持ち、共感した新たな主体がその輪に加わることで、活動の輪が広がり、より効果的なプロモーションの推進が望めます。

## 市民

市民一人ひとりが市の魅力(FUN)を再認識し、快適で安心な暮らしを楽しみます。また、市のファン(FAN)となり、関心のある活動に積極的に参加してその輪を広げるとともに、SNS等を通じた魅力発信に取り組みます。

## 事業者・団体

事業を通じて培った技術やノウハウをいかし、新たな魅力の創出や情報発信を行います。他の事業者・団体等と連携することでその効果を市全体に広げ、市のブランドイメージ向上と地域経済の活性化に取り組みます。

## 学校

授業を始めとする校内活動のほか、校外活動を通じて、市に対する子どもたちの関心や愛着を深める取組を行います。また、地域の市民や事業者・団体との連携を深め、地域コミュニティの拠点としての役割を果たします。

## 行政

市が実施する各種施策について、シティプロモーションの視点を踏まえ、更なる充実を図ります。また、市民、事業者・団体、学校等の取組を支援するとともに、関係機関同士の連携が深まるよう調整役としての役割を果たします。

## 新座市シティプロモーション方針

発行年月:平成31年 月 発行:新座市シティプロモーション課  
〒352-8623 埼玉県新座市野火止1-1-1  
TEL:048(424)4686 FAX:048(479)2226